

間もなく新年度がスタートする。新たな仲間を職場に迎える準備は万全でしょうか？

当社は、1994年から毎年4月に、新入社員研修会を開催している。2008年からは参加者を対象に就職意識に関するアンケート調査を継続的に行っており、22年度は360人から回答があった。

「入社した企業に期待することは」という問いに対し、最も割合が高いのは「温かい雰囲気職場」で66.9%、次いで「コミュニケーションの良い職場」が61.6%だった。調査開始以降、これらは常に上位に陣取っている。いつの時代も、

良好な人間関係を土台とし、「安心して働ける職場」を第一に望んでいることが見て取れる。

一方で、14年前の08年と比べて「人材育成、教育制度」や「仕事の目標の明示」「公正な評価」の回答が大幅に増加した。教

育制度がしっかり整っていると、自己成長や将来像が描け、安心感を持って働けると考える人が多くなっているのだろう。また、目標が明確になれば、自身の働きがどのよう貢献できるのか理解できるため、働き甲斐につながるやすいのかもしれない。筆者が新入社員を指導する際も、目的や意義を説明することを重視している。そして、「公正な評価」については、SNSなどで瞬時に「いいね」と評価されることが日常の世代にとって、業務を通じて存在承認がモチベーションになるのも頷ける。

今の若者は、多様性をキーワードに一律ではなく「個」を認められて育った世代。価値観や考え方、行動スタイルに新入社員を迎える側は戸惑いを覚えることもあると思う。だが、まずは新入社員一人一人を知り、彼らの視点に立って育成を考えることを実践してみたい。それが、「この会社で活躍したい」と頑張る社員を育てるスタートラインになるのではないか。